

# たより



http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo  
E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

平成 30 年 8 月 20 日  
伊勢市教育研究所  
伊勢市桜木町 55-1 (旧さくらぎ保育所)

## 若手教員の学びを支える研修講座: [教員としての心構え] 「私が大切にしてきたこと」



ハートプラザみその「保健会議室」にて

7月10日(火)、今年度の第1回「若手教員の学びを支える研修講座」を開催しました。講師として、橋本顕彦先生(二見浦小教頭)をお招きしました。

橋本先生には、教師生活29年の間、大切にしてみえたことを若手教員の皆さんに熱く語っていただきました。ずっと心に留めておきたい温かいメッセージをたくさん発信していただきました。教職経験の長い研究所職員も、初心に立ち返る思いでした。

### 橋本先生の とっておきの言葉

- 子どもを教育活動の中心に据える。
- 授業や子どもに対して「謙虚」であれ。

- 子どもを人間として尊重すること。
- 授業に真摯に向き合うこと。
- 子どもや周りの人から学ぶこと。
- 常に自分の指導を振り返り改善すること。
- 人の授業に敬意をもって接すること。

教師は・・・  
子どもの近くで  
成長を見守る  
貴重な仕事



- 指導方法に迷ったら、子どもを中心に考える。
- 子どもに教師の思いを押し付けると、自主自立の判断力がつかない子どもになる。  
「アメリカで9.11を経験した兄の言葉から、子どもに自主自立の判断力をつけることを大切にしたいと考えようになった。」
- 子どもは成長すると教師の思い通りにならなくなるものである。そのときこそ、教師はその子の「もっている力をそっと支える」ことを心がけたい。
- 変わることを信じて、子どもを尊重することが大切である。

### とっておきの実践

#### 「お父さんの仕事」(小学校6年生での実践)・・・自作教材

父の仕事を言えずに苦しむA。橋本先生はAに寄り添い、「Aが父親の仕事を理解できるような授業」、「周りの子どもたちにも意味のある授業」、「価値ある単元」をつくりたいと考えられました。その土台は、「何事も正面から向き合える子に育ててほしい」という願いです。橋本先生は、「子どもへの願いがないと場当たり的になり、一貫した指導ができない。」という考えをもたれています。

先生は授業に入る前に、Aと一緒に父親の仕事体験されました。Aは父の職場で社員の誠実な仕事ぶりを目の当たりにします。さらに、事務所に帰ってから父親と話をし、「仕事に対する責任」、「夢や誇り」、「家族への思い」を知ることになりました。

橋本先生はこの体験を自作教材にまとめ、クラスの子どもたちに提示されました。周りの子どもたちは、Aの父親の言葉を「自分の親」につなげて懸命に思考したそうです。この教材が、子どもたちの心を動かす教材になったことは間違いありません。

大切なのは、「話したいことを子どもから出させること」であると橋本先生は語られました。

## ♪ 参加者の感想 ♪

……ほんの一部ですが、掲載させていただきます。

☆教師の思いをしっかりと持つことはとても大切だと感じた。教師の思いが定まれば、すべての指導でブレることがなくなる。児童を中心に置くことと放任することを混同しないように気をつけなければならない。

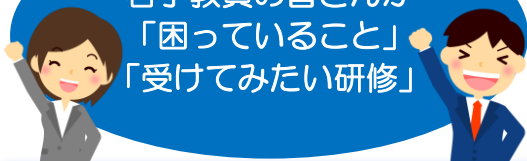
☆とてもすてきな仕事であるけど、その子の人生にかかわるとても責任のある仕事であると再確認しました。自分がどんな風に子どもたちと接していきたいのか、揺るがない気持ち、信念を持って働いていきたいと思います。

☆授業にしてもその他の場面での指導にしても迷うことと悔やむことばかりですが、この先、本当の意味で子どもを中心に据えて考え、判断し、振り返って改善していきたいと思います。子どもを手の平の上に乗せるのではなく、息切れしそうな彼・彼女らの背を気付かぬようにそっと押しやれるような教師になりたいと思います

☆自作教材をもとに、子どもたちの変化や保護者とのかかわりがあり、一つの教材を通し、子どもだけでなく大人の心も動かすのだと感じました。子どもの人生にかかわる責任感のある職であると同時に、とても充実感のある魅力あふれる職であると改めて気付くことができました。

☆「子どもたちに話し合いで問題作りをさせる」どうしても問題提起が教師発のものばかりになるのが悩みでした。子どもたちが視野を広く持ち、疑問を気軽に出せる授業づくり、そのための教材研究の深化が必要だなと強く感じました。

若手教員の皆さんが  
「困っていること」  
「受けてみたい研修」



### <中学校>

- 授業づくり、話術など
- 女子の体育において、普段の人間関係が影響して活動が難しい子に、どのようにかかわっていけばよいか。
- 保健体育の授業づくりに悩んでいる。実技テストはどんなものが適切なのか、考えて実行するものの簡単すぎたかな、難しすぎたかなと反省ばかり。保健体育関係の研修があるとありがたい。
- 授業規律ができていないのか、生徒にこちらの言うことが響いていないと感じることが多い。すべての生徒が授業を快適に受けられるような環境を整えていきたい。



### <小学校>

- 自分のやりたい、挑戦したいことと、それが子どもを中心に据えた授業になるかどうかというところのバランス
- 総合的な学習の時間や生活の授業づくりやめあての設定
- 子どもが自主的に考えるための実践等
- 健康的に、教材研究を怠ったりせず、素敵な授業をするには？
- 厳しく叱ることができない。
- 授業中に集中力がない子どものために何をしたらいいのかが分からない。すぐに後ろを向く子がいる。
- 好きなことについては話ができるが、集団の中で何かをするとき、他の子と同じようにできない子にどう寄り添ったらいいのか。
- 家庭環境に恵まれない児童が多いため、そのような子に対してどのように命の大切さを伝えていくか。
- 保護者とのかかわりが少ないので、保護者とのかかわりについて学びたい。
- ICT研修 道徳研修 外国語研修
- 教師としてどうすればよいのか。自分でも何に悩んでいるのか分からない、漠然としたモヤモヤがある。
- 自分自身を振り返ってもう一度がんばる。

「チーム伊勢」で  
サポートを！

★若手教員の皆さんの悩みや要望に、教育研究所の研修講座でもできる限りお応えしたいと思います。

★職場でもぜひ、話題にして、一緒に話し合っていたいただきたいと思います。

